

使用説明書

3 軸 VANDAL DOME IP カメラ



WARNINGS(警告)

火災や感電の危険を避けるためには、この製品を雨や霧にさらさないでください。
換気グリルを通じて金属製の物を挿入しないでください。

CAUTION(注意)

	CAUTION 感電の恐れあり 分解は行わないでください	
警告：感電のリスクを軽減します。 ユーザーによる改造は行わないでください。 サービスマンにお問い合わせください。		

COPYRIGHT(著作権)

マニュアルに記載されている商標は各社に法的に登録されます。

Content

目次

- i. はじめに 4
- ii. 製品仕様 4
- iii. 製品のインストール 10
 - A. モニターの設定 10
 - B. ハードウェアの取り付け 10
 - C. IP の割り当て 11
 - D. ACTIVEX コントロールのインストール 14
- IV. ライブビデオ 18
- V. IP カメラの設定 20
 - A. システム 20
 - B. ネットワーク 24
 - C. 映像設定 28
 - D. イベント設定 32
- VI. ネットワークの構成 39
- VII. 工場出荷時へ戻す 39
- IX. マイクロ SD カードの互換性 40

I. はじめに

これは、1 / 2.7 〃メガピクセルの CMOS センサーIP カメラで、Web サーバーが内蔵されています。ユーザーは IE ブラウザ経由でリアルタイムビデオを見ることができます。これは、H.264、および M-JPEG ビデオ圧縮をサポートし、滑らかで高いビデオ品質を提供します。ビデオは Micro SD カードに保存して、遠隔地で再生することができます。

ユーザーフレンドリーなインターフェイスで、使いやすい IP カメラです。

II. 製品仕様

- Emor CMOS Sensor イメージセンサー採用
- 高いフレームレート毎秒 60 フレーム (fps)
- 顔検出機能によるシーン解析
- H.264 (High/Main/Baseline Profile) M-JPEG Video
- WDR をさらに強化
- DIS (Digital Image Stabilizer) を内蔵
- インテリジェント機能をサポート
- Super 3D+2D Digital Noise Reduction
- 昼 & 夜の自動時間制御
- Power over Ethernet (POE) 対応
- BNC ビデオアウト
- IR カットフィルター搭載
- SD カード録画可能
- サポート iPhone/Android/Mac
- トリプルストリーミング
- プライバシーマスク対応
- ONVIF 準拠

仕様表

ハードウェア		
CPU		Multimedia SoC
RAM		256MB
Flash		512MB
イメージセンサー		1/2.7" Megapixel CMOS sensor
レンズタイプ		Varifocal 2.8~12mm, F14
写角	Horizontal:33.98° ~97.56°	
	Vertical:20.41° ~48.67°	
被写体最低照度	Color:0.05 Lux (AGC ON)	
	B/W:0.01s Lux (AGC ON)	
赤外線 LED		18 LEDs
赤外線照射距離		30M
アラーム		1DI/1DO
BLC		自動
AGC		X8, x16, x24, x32, x48, x64
シャッタースピード	Day	Outdoor, Indoor, 1/30, 1/50/, 1/60, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500,
	Night	1/1000, 1/10000sec
D-WDR		Adjust by Level
コリドーモード		無, 90° , 270°
センスアップ		1/5, 1/10, 1/15, 1/30
アンチフォグ		On/Off
レンズ歪み補正		Adjust by Level
SD カード		Micro SD card slot
ビデオ		
映像圧縮	H. 264	1920×1080@30fps, 1280×720@30fps, 640×480@30fps
	MJPEG	320×240@30fps, 176×144@30fps
トリプルストリーミング		Yes
ビデオアジャスト		Brightness, Conteast, Hue, Saturation, Sharpness, AGC, Shutter, Time, Sence-Up, D-WDR, Anti Fog, Lens Distortion Correction, Flip, Mirror, Day&Night Adjustable, White, Balance, Denoise

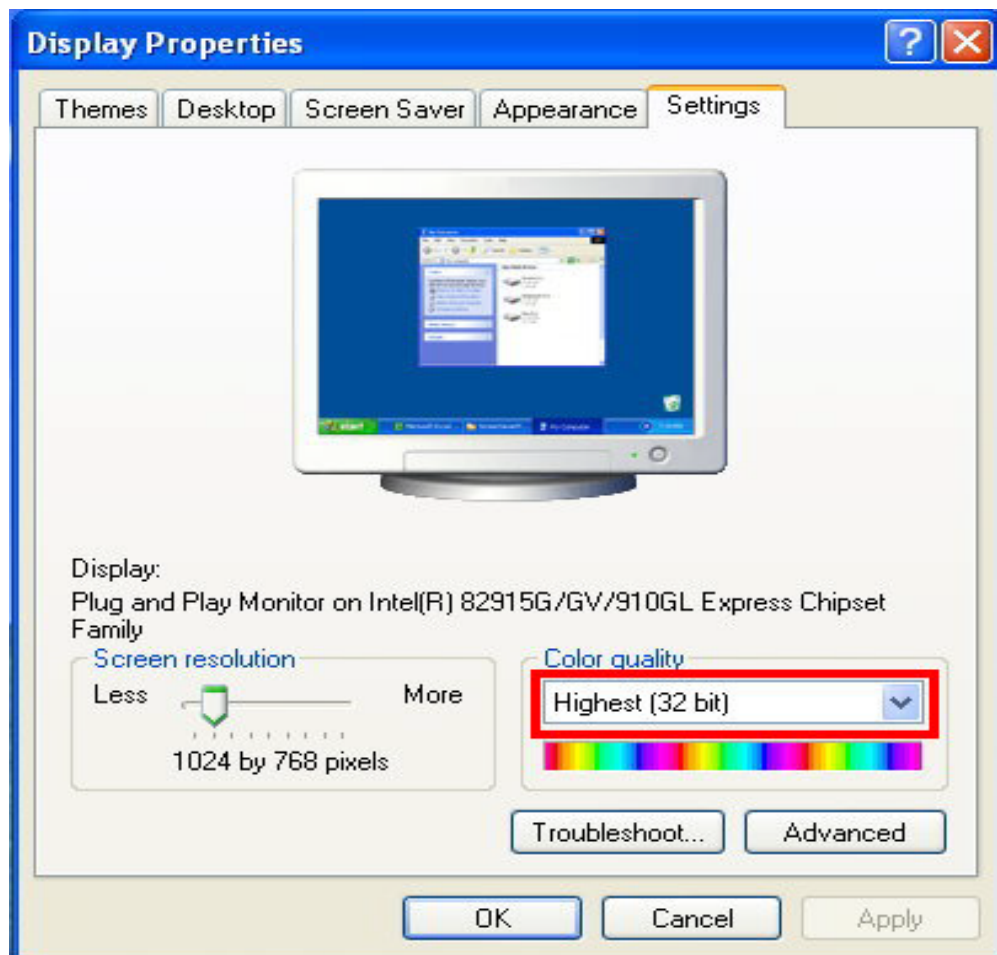
イメージスナップショット	可能
プライバシーマスク	可能
フルスクリーンモニタリング	可能
ビットレート調整	Yes, adjust by VBR/CBR
モーション検知	3 か所
センサー検知	可能
改ざん検知	可能
トリガーアクション	Mail, FTP server, Save to SD card, relay out, SAMBA
プレ/ポストアラーム	Pre alarm 5 sec/Post alarm 10 sec
セキュリティ	Password protection, IP address filtering, HTTPS encrypted data transmission 802.1X port-based authentication for network protection, QoS/DSCP
同時接続数	10 人
モバイル	iPhone/Android App
モバイル	
ストリーミング	Two way audio support
圧縮	G. 711 (64K) /G. 726 (32K, 24K)
入力	External Audio input
出力	External Audio output
ネットワーク	
イーサネット	10/100 Base-T RJ45
プロトコル	IPv6, IPv4, HTTP, HTTPS, SNMP, QoS/DCSP, Access list, IEEE 802.1X, RTSP, TCP/IP, UDP, SMTP, FTP, PPPoE, DHCP, DDNS, NTP, UPnP, 3GPP, SAMBA, Bonjour, IGMP
ソフトウェア	
必要条件	Browser IE 7.0 or above, Firefox 3.0, Safari/Opera, Google Chrome
SDK	可能
管理ソフトウェア	MaxiWatch Lite 64ch
メカニカル	
防水	IP66
動作温度	‘-10°C~50°C or -30°C~50°Cwith Heater (Option)
湿度	20%~80%
大きさ	137 (H) mmx102 (D) mm
重さ	890g

電源	DC12V, POE (IEEE802.3af)
消費電力	DC 12V Max:3.84W (IR ON), 2.52 (IR OFF) PoE Max:4.8W (IR ON), 3.36W (IR OFF)

Ⅲ. 製品のインストール

A. モニターの設定

- i. デスクトップ上にて右クリックします。
- ii. 色品質最高(32ビット)に変更します。



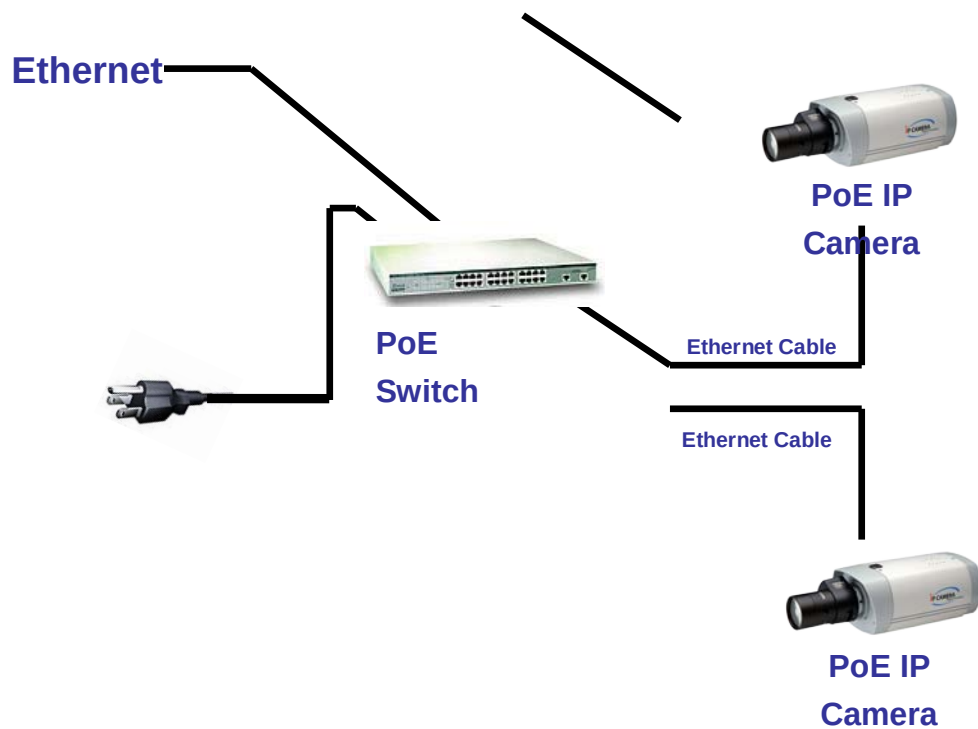
B. ハードウェアの取り付け

1. コネクタ命令

DC アダプタの電源を接続するか、2P 端子台を使用して AC 電源に接続するか、POE を使用してください。IP カメラを PC やネットワークに接続し、ネットワーク環境に合わせてネットワーク設定を行います。

2. Power Over Ethernet(パワーオーバーイーサネット)(以後 POE)802.3af、15.4W POE スイッチ推奨

POE は電源、標準の LAN インフラストラクチャに統合する技術です。電動ネットワーク接続にしようされるものと同じケーブルを使用して、ネットワークカメラや IP 電話などのネットワークデバイスに提供することができます。これにより、カメラの場所に電源コンセントが不要になり、UPS(無停電電源装置)を 24 時間いつでも使用することができます。



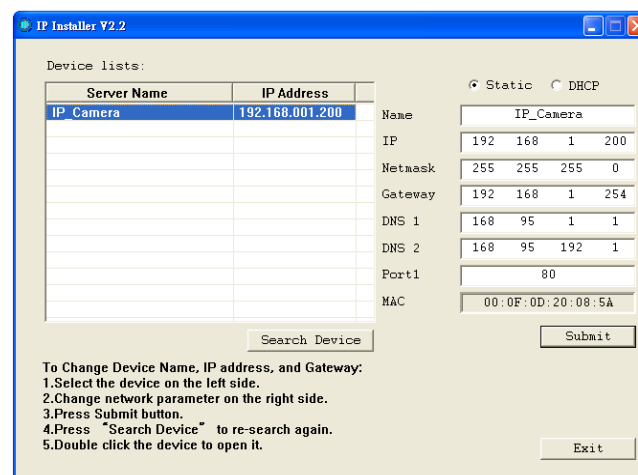
C. IP 割り当て

- i. IP カメラの IP アドレスを割り当てるには、「IP インストーラー」を使用します。
ソフトウェアは添付されている CD に入っています。
- ii. IP インストーラーは 2 つの言語をサポートしています。
 - a. IPInstallerCht.exe: 中国語バージョン
 - b. IPInstallerCht.exe: 英語バージョン
- iii. IP の構成は 3 種類あります。
 - a. 固定 IP (Public IP or Virtual IP)
 - b. DHCP (ダイナミック IP)
 - c. ダイアルアップ (PPPoE)
- iv. IP インストレーターを実行します。
- v. Windows XP SP2 ユーザーの場合、次のメッセージボックスがポップアップ表示されることがあります。「ブロック解除」をクリックしてくださ

い。

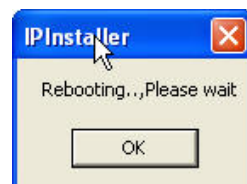


vi. IP インストーラー構成



vii. IP インストーラーは LAN に接続されている IP カメラをすべて検索します。ユーザーが再度検索する場合は「Search Device」をクリックして再度検索することができます。

viii. 左側にリストアップされている IP カメラの 1 つをクリックします。すると、クリックした IP カメラのネットワーク構成が右側に表示されます。あなたの好みに IP カメラの「名前」を変更することができます(例: オフィス、倉庫)。パラメーターを変更して[Submit]をクリックし、[OK]をクリックします。変更を適用してデバイスを再起動します。



- ix. PC の IP アドレスと IP CAM の IP アドレスのサブネットが同じかどうかを確認してください。

同じサブネット

IP CAM IP address: 192.168.1.200

PC IP address: 192.168.1.100

異なるサブネット

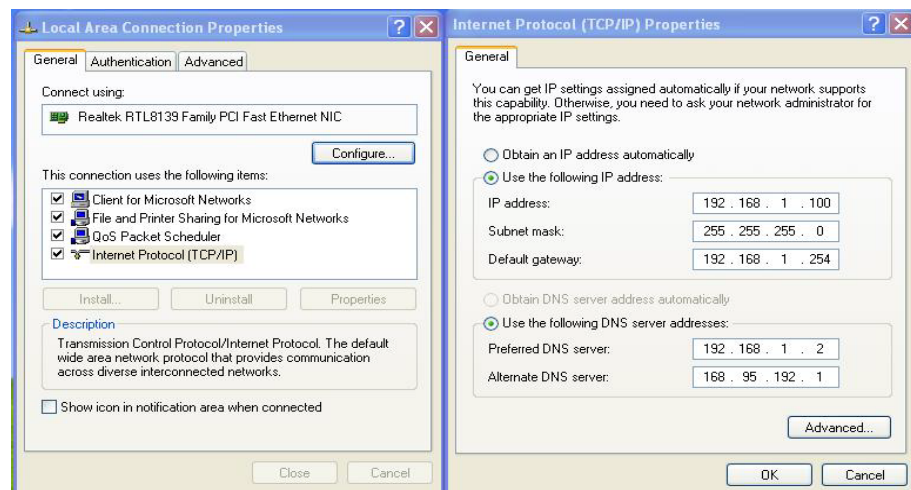
IP CAM IP address: 192.168.2.200

PC IP address: 192.168.1.100

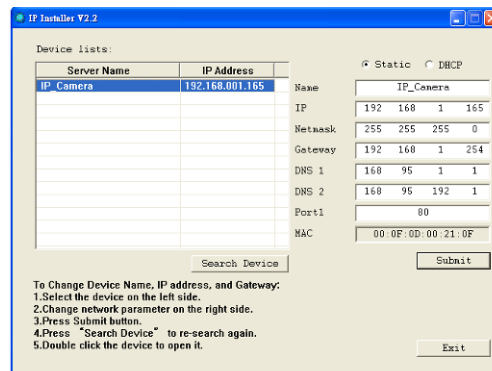
PC の IP アドレスの変更方法

コントロールパネル→ネットワーク接続→ローカルエリア接続のプロパティ→インターネットプロトコル(TCP/IP)→プロパティ

あなたの IP カメラと PC が同じサブネットを持っていることを確認してください。そうでない場合は、IP Camera サブネットまたは PC IP サブネットをそれに応じて変更してください。



- x. 遠隔監視に簡単にアクセスするには、IP インストーラーの「デバイスリスト」に記載されている選択された IP カメラをマウスの左ボタンで 2 回クリックします。IE ブラウザが開かれます。



- xi. 次にデフォルトの「ユーザー名:admin」と「パスワード:admin」を入力してください。



D. ActiveX コントロールのインストール

1. 最初にIEを介してカメラにアクセスすると、ActiveX コンポーネントのインストールを要求されます。
インストールが失敗した場合は、IE ブラウザのセキュリティ設定を確認してください。
 - i. IE→ツール→インターネットオプション→{セキュリティ} タグ→レベルのカスタマイズ→セキュリティの設定→未署名の ActiveX コントロールをダウンロード→{有効} または {プロンプト} を選択します。
 - ii. IE→ツール→インターネットオプション→{セキュリティ} タグ→レベルのカスタマイズ→スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX の初期化とスクリプトの実行→プロンプトを有効にします。

次のダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックします。

別の方法でもやることができます。

Internet Explorer→ツール→インターネットオプション→{セキュリティ} タブ→信頼済みサイト→IP アドレスを追加して「OK」をクリックします。

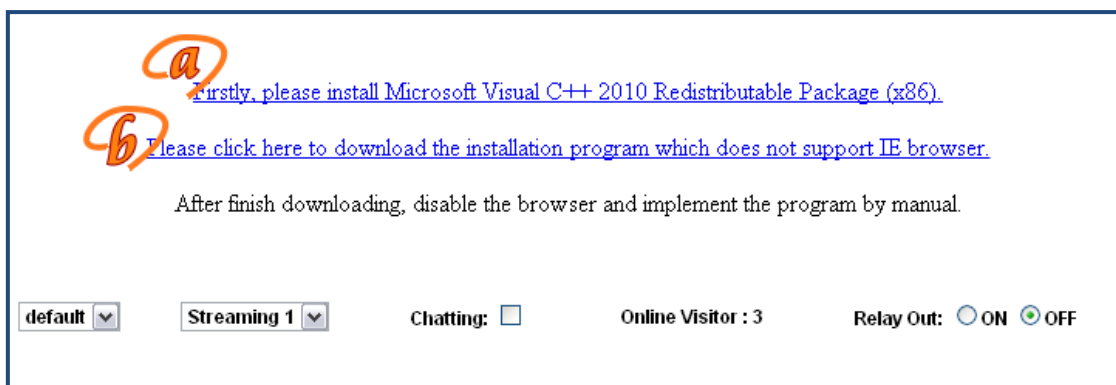
サイトリストでは、1 つの IP アドレスまたは LAN アドレスをキー入力できます。たとえば、「192.168.21.※」を追加すると、21LAN の下にあるすべての IP アドレスが信頼済みサイトとみなされます。

2. 非 IE Web ブラウザを使用する。

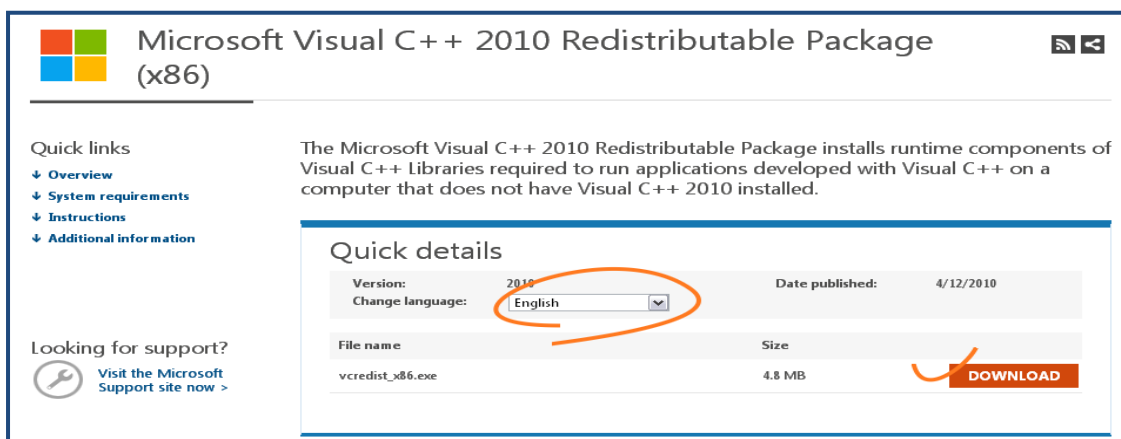
Firefox または Google Chrome を使用して IP カメラにアクセスしても、ライブビデオを視聴できない場合は、次の手順に従って必要なツールをインストールしてください。（以下の写真はクロムをベースにしています。）

- a. 以下のようなプロンプトメッセージが表示される場合があります。まず、リンクをクリックしてください。

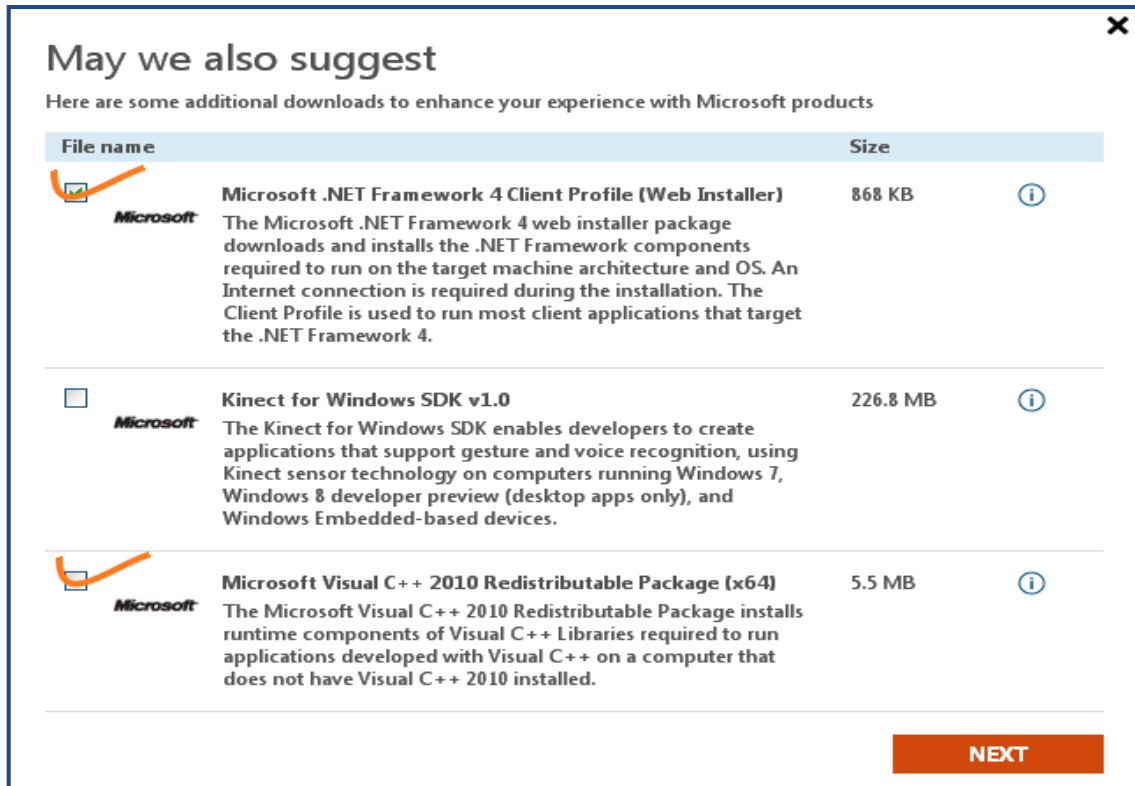
‘まず、Microsoft Visual C ++ 2010 Redistributable Package(x86)



- (i) リンクをクリックすると、ツールをダウンロードできる Microsoft 公式サイトが表示されます。言語を選択して「ダウンロード」をクリックしてください。



- (ii) ポップアップウィンドウで、下の図のように 1 番目と 3 番目のファイルをチェックしてください。「Microsoft.NET Framework4 クライアントプロファイル(Web インストーター)」と「Microsoft Visual C ++ 2010 再頒布可能パッケージ(x64)」の両方をダウンロードするには、「次へ」をクリックします。



- (iii) ダウンロードが終了したら、2 つのファイルをそれぞれ実行してインストールします。インストールが完了したら、ウィンドウが PC の再起動を要求することがあります。



- b. 次に「IE ブラウザをサポートしていないインストールプログラムをダウンロードするには、ここをクリックしてください」という 2 番目のリンクをクリックします。セットアップ ActiveX をダウンロードします。ダウンロードが終了したら、ActiveX をインストールするファイルを実行します。次に、ブラウザを再起動します。

a Firstly, please install [Microsoft Visual C++ 2010 Redistributable Package \(x86\)](#).

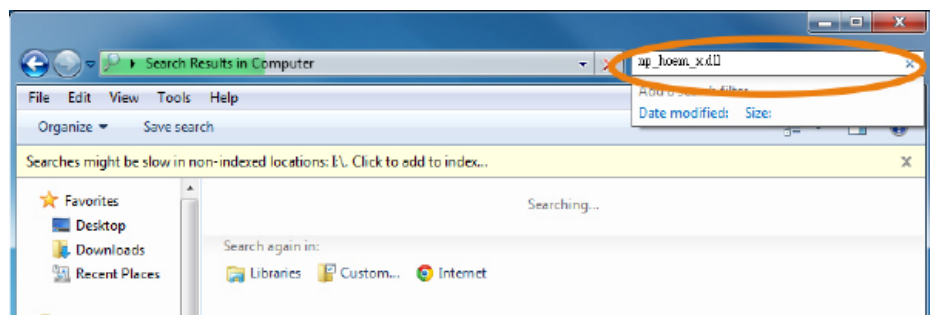
b Please click [here](#) to download the installation program which does not support IE browser.

After finish downloading, disable the browser and implement the program by manual.

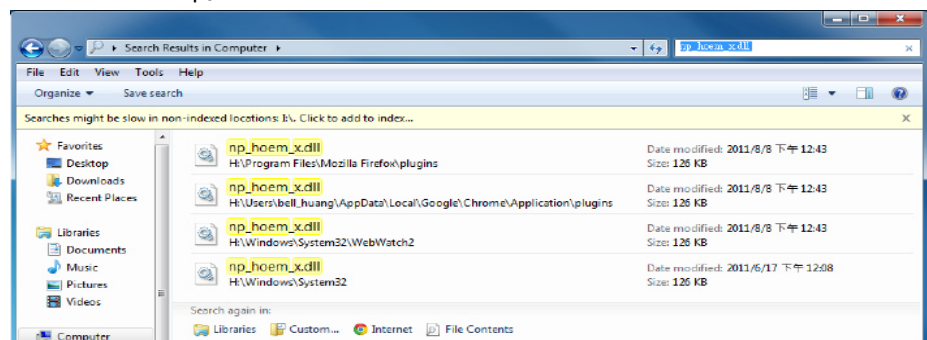
default Streaming 1 Chatting: ☐ Online Visitor : 3 Relay Out: ☐ ON ☒ OFF

c. 上記の手順を実行してもライブビデオが正常に表示されていない場合は、解決策を試してください。

- (i) システムディスク内のファイル「np_hoem_x.dll」を検索します。Windows XP の場合は、「スタート」→「検索」→「すべてのファイルとフォルダ」を検索し、「np_hoem_x.dll」を入力してください。Windows7 ユーザーの場合は、Windows エクスプローラの右上にある検索バーを使用してください。



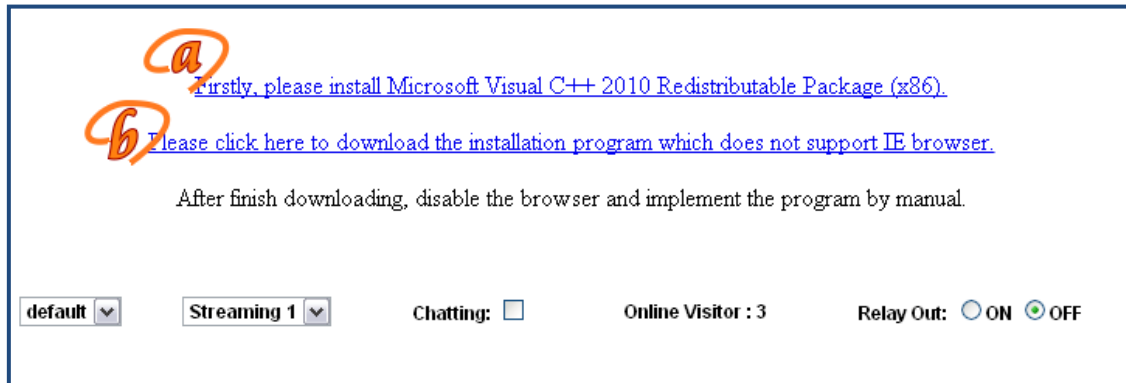
「np_hoem_x.dll」という名前のファイルをすべて削除します。これ



ターにインストールされた ActiveX コントロールツールですが、古いバージョンの ActiveX は新しいバージョンのブラウザと互換性がない場合があります。したがって、最新の ActiveX コントロールをインストールするためには削除する

必要があります。

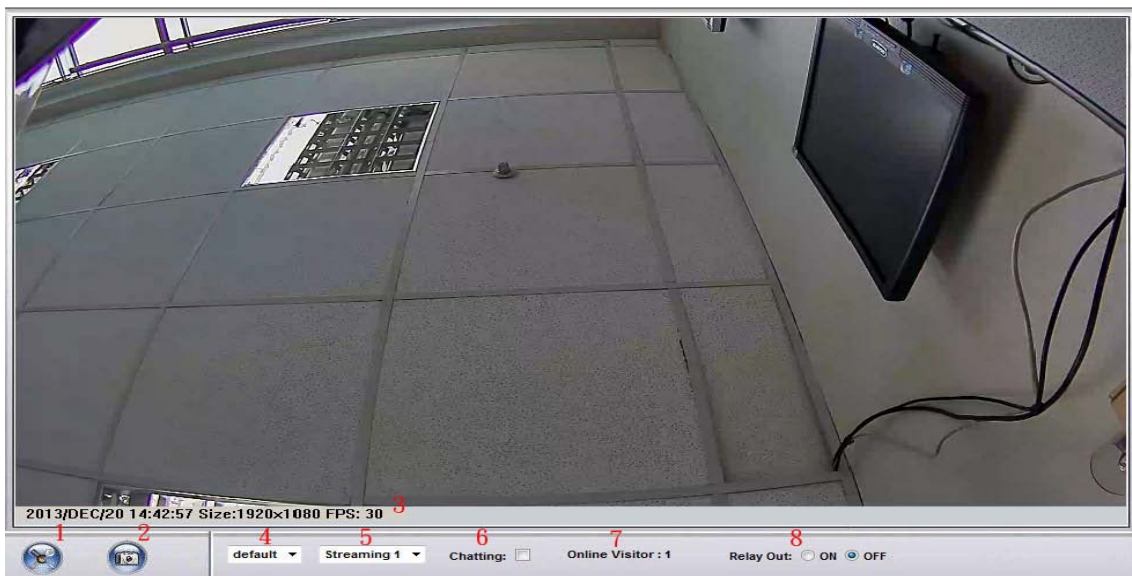
- (iii) Web ブラウザを起動し、ステップ 2-b:「IE ブラウザをサポートしていないインストールプログラムをダウンロードする」を繰り返して、ActiveX をダウンロードしてインストールします。



IV. ライブビデオ

IE ブラウザを起動し、アドレス欄に IP カメラの IP アドレスを入力します。次のダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名とパスワードは「admin」と「admin」です。

IP カメラの接続が完了すると、次のインターフェイスを表示します。



フルスクリーン表示に切り替えるには、ビデオをダブルクリックします。”Esc”を押すか、ビデオをもう一度ダブルクリックすると通常表示に戻ります。



1. :管理ページに入る。



2. :ビデオスナップショット

3. システム時間、ビデオの解像度及びリフレッシュレートビデオを表示します。

4. 調節するイメージ 1/2x、1x、2x

5. ビデオストリーミング情報

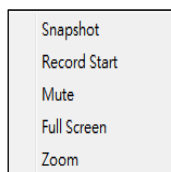
6. IP カメラは双方向オーディオをサポートしています。PC に接続されたマイクを使用する場合は、[チャット]をオンにして、カメラ側に話してください。

7. この IP カメラに接続されている人数を表示します。

8. このカメラに接続されているリレー出力を制御します。

ビデオ映像をダブルクリックすると全画面モードに変更できます。”Esc”キーを押すかビデオ映像をダブルクリックすると、通常モードに戻ります。

ビデオ上でマウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



1. スナップショット: JPEG 画像を保存する。

2. 録画開始:ローカルPCにビデオを録画します。保存場所を尋ねられます。録画を停止するにはマウスを再度右クリックします。「記憶停止」を選択します。ビデオ形式は AVI です。記憶されたファイルを再生するには、Microsoft Media Player を使用します。
3. ミュート:オーディオをオフにします。オンにするには再度クリックしてください。
4. フルスクリーン:フルスクリーンモード
5. ズーム:ズームイン/ズームアウト機能を有効にします。ポップアップダイアログボックスの「デジタルズームを有効にする」を選択し、バーをドラッグ&ドロップ ズーム倍率を調整するバー。

V. IP カメラの設定



をクリック、管理ページに入ります。



をクリックでライブビデオのページに戻ります。

The screenshot displays the IP Camera Management Web Interface. On the left is a navigation menu with categories: System (containing System Information, User Management, System Update), Network (containing IP Setting, Advanced, PPPoE & DDNS, Server(Mail,Ftp...)), AV Setting (containing Image Setting, Video Setting, Audio), and Event (containing Event Setting, Schedule, I/O Setting, Log List, SD Card). The main content area is titled 'System Information' and is divided into several sections:

- Server Information:**
 - MAC Address: 00:0F:0D:22:FF:54
 - Server Name: IP_Camera
 - Language: English (selected), 繁體中文, 简体中文, French, Russian, Italian, Spanish, German, Portuguese, Polish, Japanese.
- OSD Setting:**
 - Time Stamp: Disabled (selected), Enabled
 - Text: OSD_Display (selected), Text Edit
- Time Setting:**
 - Server Time: 2012/2/23 12:31:56 Time Zone: GMT+08:00
 - Date Format: yy/mm/dd (selected), mm/dd/yy, dd/mm/yy
 - Time Zone: GMT+08:00
 - Enable Daylight Saving: []
 - NTP: []
 - NTP Server: 198.123.30.132
 - Update: 6 Hour
 - Time Shift: 0 Minutes [-1440..1440]
 - Synchronize with PC's time: []
 - Date: 2012/2/23
 - Time: 12:31:58
 - Manual: []
 - Date: 2012/2/23
 - Time: 12:31:46
 - The date and time remain the same: [x]

An 'Apply' button is located at the bottom right of the main content area.

A. システム

- i. システム情報
 - a. サーバーの情報：カメラの名前、言語の選択、カメラの時刻を設定します。
 - 1. カメラ名：カメラの名前です。この名前は IP インストーラーに表示されます。（日本語での表記は不可）
 - 2. 言語の選択：複数の言語が選択できます。チェックを入れると次のダイアログボックスが表示されます。
 - b. OSD 設定：日時と時刻スタンプを画面に表示する位置、テキストを入力します。

[テキスト編集]をクリックして、OSD テキストの内容を調整します。アルファは、テキストの背景透明度を意味します。100%を選択すると、テキストスタンプがライブ画像に直接表示されます。100%を選択すると、テキストスタンプが黒い背景が表示されます。

サーバーの時刻設定：「NTP」、「PC の時刻を同期する」、「手動」「日付と時刻は変わらない」の設定時間を設定するオプションを選択します。

The screenshot displays the 'Time Setting' window with the following configuration:

- Server Time:** 2011/11/28 18:48:45 Time Zone: GMT+08:00
- Date Format:** ☒ yy/mm/dd ☐ mm/dd/yy ☐ dd/mm/yy
- Time Zone:** GMT+08:00
- ☒ **Enable Daylight Saving:**
 - DST Start:** Month: Mar, Week: 2nd, Day of Week: Sun, Time: 12 am
 - DST End:** Month: Nov, Week: 1st, Day of Week: Sat, Time: 12 am
- ☐ **NTP:**
 - NTP Server:** 198.123.30.132
 - Update:** 6 Hour
 - Time Shift:** 0 Minutes [-1440..1440]
- ☐ **Synchronize with PC's time**
 - Date:** 2011/11/28
 - Time:** 18:44:11
- ☐ **Manual**
 - Date:** 2011/11/28
 - Time:** 18:43:47
- ☒ **The date and time remain the same**

User Management

Anonymous User Login
☐ YES ☒ NO

Universal Password (differs by IP Address)
☐ YES ☒ NO Setting

Add User
 Username:
 Password:
 Confirm: Add/Set

User List

Username	User Group	Modify	Remove
admin	Administrator	Edit	-----
as	Guest	Edit	Remove

ii. ユーザー管理

IP カメラは管理者、一般ユーザー、および匿名ユーザーの 3 つの異なるユーザーをサポートしています。

a. 匿名ユーザーログイン

ユーザー名とパスワードを必要とせずにすべてのユーザーがライブビデオを視聴できるようにするには、{はい}を選択します。ただし、設定ページに入ると、カメラはユーザー名とパスワードの入力を要求します。

カメラにアクセスするためのユーザー名とログインが必要な場合は、「いいえ」を選択します。

b. ユニバーサルパスワード

ユニバーサルパスワードでこの IP CAM にログインできるようにするには「はい」を選択します。

ユニバーサルパスワードを無効にする場合は「いいえ」を選択します。

c. ユーザーを追加する。

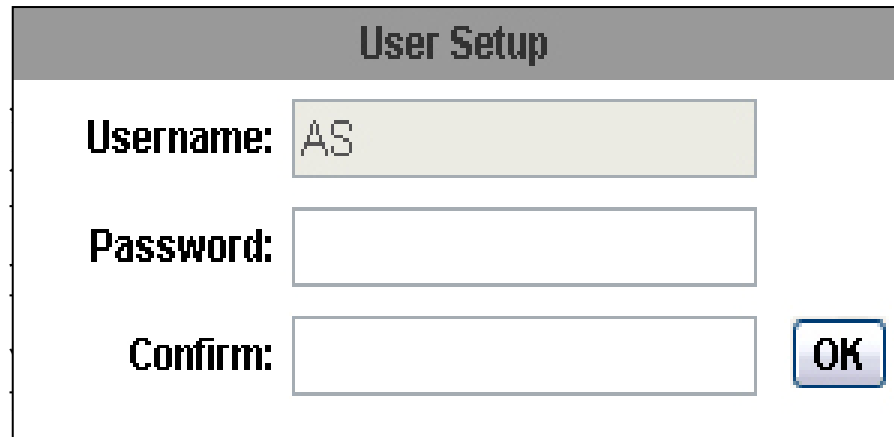
ユーザー名とパスワードを入力し、「追加設定」をクリックすると、ゲストユーザーはライブビデオページだけを視聴でき、設定ページには、入ることができません。

d. ユーザー情報の編集・削除

ユーザー情報を編集する前に、ポップアップウィンドウでパスワードを

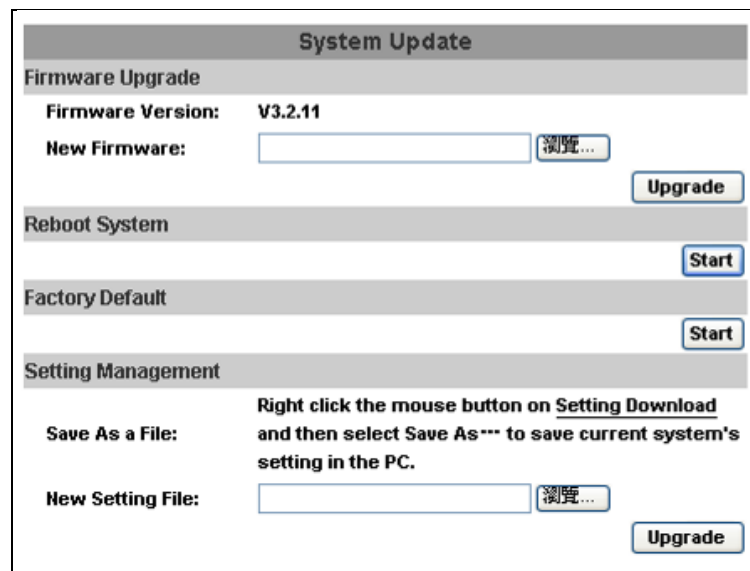
入力するように選択するには、ユーザーリストの「編集」または「削除」をクリックして変更することができます。

iii.



The 'User Setup' dialog box has a title bar 'User Setup'. It contains three input fields: 'Username:' with the text 'AS', 'Password:', and 'Confirm:'. To the right of the 'Confirm:' field is an 'OK' button.

ア
ート



The 'System Update' dialog box has a title bar 'System Update'. It contains several sections: 'Firmware Upgrade' with 'Firmware Version: V3.2.11', 'New Firmware:' field, and a 'Browse...' button; an 'Upgrade' button; 'Reboot System' with a 'Start' button; 'Factory Default' with a 'Start' button; and 'Setting Management' with 'Save As a File:' text, a 'New Setting File:' field, a 'Browse...' button, and an 'Upgrade' button. A note states: 'Right click the mouse button on Setting Download and then select Save As... to save current system's setting in the PC.'

- a. ファームウェア更新:ファームウェアをオンラインで更新するには [参照]をクリックしてファームウェアを選択します。その後[アップグレード]をクリックして続行を押します。
- b. システムリブート:IP カメラを再起動します。
- c. 工場出荷時設定:IP カメラの設定をすべて削除します。

d. 設定管理:現在の設定を PC にダウンロード、または以前の設定をアップロードします。

1. 設定ファイルの保存

マウスで設定ファイル保存上文章のここという文字を右クリックしてください。ここを右クリック、対象をファイルに保存を選択し、指定のディレクトリに保存します。

2. 設定ファイルの保存

参照よりアップロードするファイルを選択、更新をクリックします。

B. ネットワーク

i. IP 設定

IP 割り当て

IP Setting	
IP Assignment	
☐ DHCP	
☒ Static	
IP Address:	192.168.40.150
Subnet Mask:	255.255.255.0
Gateway:	192.168.40.254
DNS 0:	168.95.1.1
DNS 1:	168.95.192.1

IP カメラは DHCP と静的 IP をサポートしています。

a. DHCP:IP カメラは自動的にすべてのネットワークパラメーターを自動的に取得します。

b. 静的 IP:IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を手動で入力してください。

IPv6 割り当て

IPv6 Assignment

☒ IPv6 Enabled:

☒ Manually setup the IPv6 address:

IPv6 Address/Prefix: /

IPv6 Gateway:
IPv6 DNS:
DHCPv6: ☐ Enabled ☒ Disabled

IPv6 Address:
fe80::20f:dff:fe00:284d

IPv6 は、今日のインターネットトラフィックの大半を占める IPv4 よりもはるかに大きなアドレスプールを提供する新しい番号システムです。アドレス、ゲートウェイ、および DNS のキーを使用して IPv6 を手動で設定するか、DHCP を有効にして IP を自動的に割り当てることができます。

c. ポートの割り当て

Port Assignment

Web Page Port:
HTTPS Port: HTTPS Setting

Web ページポート: ポートとビデオ送信ポートを接続する設定 Web ページ(デフォルト: 80)

HTTP ポート: HTTPS 接続ポートの設定(デフォルト: 443)

d. UPnP: この IP カメラの UPnP を有効にした場合、カメラが自動的に検出されます。新しいアイコンが「マイネットワーク」に追加されます。

UPnP

UPnP: ☒ Enabled ☐ Disabled
UPnP Port Forwarding: ☐ Enabled ☒ Disabled
External Web Port:
External HTTPS Port:
External RTSP Port:

e.

UPnP ポート転送:

有効にすると、UPnP ポートを転送することが出来ます。インターネ

ットにてカメラにアクセスが出来るようになります。ルーター上のポートを自動的に開くので、LAN からビデオストリームを送信することが出来ます。ネットワークカメラを許可する為オプションを選択します。また 3 つの外部ポートを設定できます。「wed ポート・HTTP ポート・RTSP ポート」があります。この機能を利用するには、準備されたルーターが UPnP TM をサポートしているのか確認してください。

メモ:お使いのコンピューターで UPnP を有効にする必要があります。

UPnP1 を有効にする手順に従ってください。

1. スタート→コントロールパネル
2. プログラムの通貨と削除を選択します。
3. Windows コンポーネントの追加と削除を選択し、「ネットワークサービス」セクションを開きます。
4. 詳細をクリックし、UPnP を選択してサービスを設定します。
5. IP デバイスのアイコンが「マイネットワーク」に追加されます。
6. アイコンをダブルクリックで IP カメラにアクセスできます。

f. RTSP 設定:

1. RTSP サーバー:有効又は、無効にします。
2. RTSP 認証:3 つの中から認証を選択します。
3. RTSP ポート:RTSP 送信用のポートを設定します。(既定 554)
4. RTP の開始と終了ポート:RTSP モードで TCP と UDP の接続に使用します。TCP 接続は RTSP ポート(554)を使用します。
UDP の接続は RTP の開始と終了のポートを使用します。

ii. アドバンス設定

- a. https(Hypertext Transfer Protocol Secure):https はより高いセキュリティレベルで、内部にストリーミングデータ伝送を保護するのに役立ちます。

Https 設定:設定をする前に、HTTP 接続タイプにて以前の情報は削除してください。

1. 生成された要求情報:作成された要求情報のセキュリティ ID を削除します。警告メッセージが表示しますが、安全な識別を削除するには「はい」を設定してください。
2. セキュリティで保護された身分証明書を設定し選択します。

3. 証明書作成: 証明モードで再度証明書を削除します。再び確認する警告メッセージが表示されます。
 4. 署名証明書と自己署名入りの証明書を作成するには 2 つの方法があります。
- b. SNMP(Simple Network Management Protocol)
1. SNMPv1 または SNMPv2 を有効にして、Write コミュニティ名と Read コミュニティ名の名前を記述します。
 2. SNMPv3 を有効にして、セキュリティ名を書込み、認証タイプ、認証パスワード、暗号化タイプ、暗号化パスワードの Write モードと Read モードを設定してください。
 3. Enable SNMPv1/SNMPv2 を有効にすると、トラップサーバOを検出することが出来ます。
どのようなイベントを検出する必要があるか設定してください。
- c. アクセスリスト: IP アドレスフィルタを有効にすると、このカメラに IP アドレスを許可または拒否することが出来ます。1 つ 2 つのオプション設定をすると、IP アドレスを設定するユーザーの為の範囲を設定できます。
- d. QoS/DSCP(Quality of Server/Differentiated Services Code-point)
- DSCP を分析する為の単純なメカニズムを指定し、ネットワークトラフィックの管理をし、IP ネットワークの QoS を提供します。
DHCP は IP ヘッダーパケット分類の目的の為に 6 ビット必要です。
ライブストリーム、イベント・アラーム管理用に準備してください。
- e. IEEE 802.1x はポートベースのネットワークアクセス制御の IEEE 標準です。LAN または WLAN 接続を希望するデバイスに認証メカニズムを提供します。
EAPOL プロトコルはローカル LAN セグメント上サービスの ID とオプションの point to point の暗号化をサポートします。
サポートされているオーセンティケータと認証サーバーのバージョンを確認してください。このカメラは EAP-TLS 方式をサポートしています。その後、CA が発行した ID とパスワードを入力し、関連する証明書をアップロードしてください。

iii. PPPoE & DDNS

a. PPPoE: PPPoE を使用するには「有効」を選択します。ADSL 接続用ユーザーID/パスワードを入力します。接続後に指定のメールアドレスアカウントを送信します。メール設定とFTPの設定とFTPの設定を参照してください。

b. DDNS(ダイナミックDNS)をサポートしています。

1. DynDNS

- (1) このサービスを有効にします。
- (2) DynDNS サーバー名、ユーザー名およびパスワードを入力します。
- (3) IP スケジュールアップデートリフレッシュレートを設定します。
- (4) 「適用」をクリックします。
- (5) スケジュール更新が頻繁に行われると、IP ブロックされる可能性があります。一般に、毎日の更新(1440 分)をお勧めします。

2. DDNS ステータス

- (1) 更新中: 情報更新
- (2) アイドル: サービスを停止する。
- (3) DDNS 登録に成功し、正常に登録できます。
- (4) 更新に失敗しました。名前は既に登録されています: ユーザー名は既に使用されているので、それを変更してください。
- (5) 更新に失敗しました。提供したアカウント情報を確認してください。: サーバー、ユーザー名、パスワードが間違っている可能性があります。

iv. サーバー設定

サーバーには、電子メール、FTP、SAMBA と 3 種類の選択肢があります。詳細設定オプションを表示する項目を選択します。1 つまたは全てを構成することが出来ます。

※FTP のメールでビデオを送信するには、最初に設定を行ってください

い。

C. 映像設定

i. プライバシーマスク設定

Privacy Mask

Area 1 Area 2 Area 3 Save

Image Setting

Brightness: 0 ▼

Contrast: 0 ▼

Hue: 0 ▼

Saturation: 0 ▼

Sharpness: 0 ▼

AGC: 64x ▼

Shutter Time: Day: Outdoor ▼ Night: Outdoor ▼

Ture WDR: ☒

Bright 0 ▼ Dark 0 ▼ Contrast 0 ▼

Video Orientation: ☐ Flip ☐ Mirror

Day Lux: 7 lux ▼ (about) Night Lux: 3 lux ▼ (about)

Current Lux: over 55 lux (about)

Day & Night: Light Sensor Mode ▼

White Balance: ATW mode ▼

Denoise: 2D+3D: 3 ▼ Default

3つの領域をプライバシーマスクとして設定することが出来ます。エリア1を選択し、上記の画像上にて領域を引っ張ります。最後に保存を選択します。

このページでは、「明るさ」「コントラスト」「色相」「彩度」「自動・・・AGC」「AES」「ナイトモード」「D-WDR」などが調整出来ます。

ii. ビデオ設定

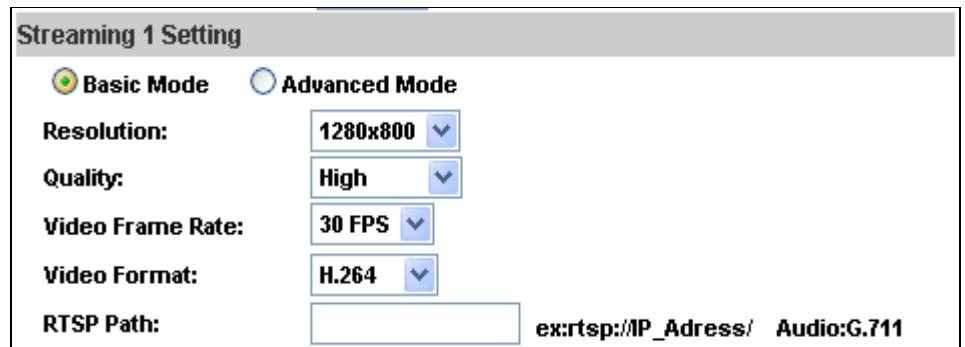
ストリームの設定を行います。

Steaming 1 設定:基本モードかアドバンスモード

Steaming 2 設定:基本モードかアドバンスモード、または 3GPP モード

ビデオシステム:ドロップダウンし、システムタイプを選択。

a. ストリーム 1 設定 基本モード



Streaming 1 Setting

☒ Basic Mode ☐ Advanced Mode

Resolution: 1280x800 ▼

Quality: High ▼

Video Frame Rate: 30 FPS ▼

Video Format: H.264 ▼

RTSP Path: ex:rtsp://IP_Address/ Audio:G.711

1. 解像度

5 つの解像度を選択することが出来ます。

1920x1080@30fps, 1280x720@30fps, 640x480@30fps,
320x240@30fps, 176x144@30fps.

2. Profile: 3 つの輪郭を選択できます。

High/Main/Baseline

3. 画質: 5 つの画質を選択できます。

最高・高い・標準・中間・低い

4. ビデオフレームレート: ドロップダウンし、選択してください。

5. 圧縮形式: H264.JPEG より選択してください。

6. RTSP パス: RTSP 出力名です。

b. ストリーム 1 設定 アドバンスモード

1. 解像度

5 つの解像度を選択することが出来ます。

1920x1080@30fps, 1280x720@30fps, 640x480@30fps,
320x240@30fps, 176x144@30fps.

2. Profile: 3 つの輪郭を選択できます。

High/Main/Baseline

3. ビットレート管理モード

CBR(定数ビットレート)とVBR(可変ビットレート)を使用できます。

CBR:32Kbps～4Mbps(数値が高いほどビデオ品質がよい)

VBR:1(Low)～10(High)圧縮率が高いほど、画像品質が低いです。

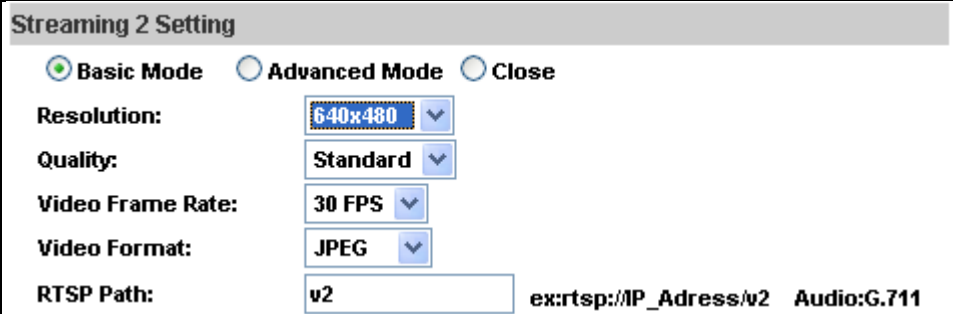
またネットワーク帯域幅に影響がある場合があります。VBR レートを選択は慎重に行ってください。

4. ビデオフレームレート:ドロップダウンし、選択してください。

5. 圧縮形式:H264.JPEG より選択してください。

6. RTSP パス:RTSP 出力名です。

c. ストリーム 2 設定 基本モード



Streaming 2 Setting

☒ Basic Mode ☐ Advanced Mode ☐ Close

Resolution: 640x480 ▼

Quality: Standard ▼

Video Frame Rate: 30 FPS ▼

Video Format: JPEG ▼

RTSP Path: v2 ex:rtsp://IP_Address/v2 Audio:G.711

1. 解像度

5 つの解像度を選択することができます。

1920x1080@30fps,1280x720@30fps,640x480@30fps,
320x240@30fps,176x144@30fps

2. Profile:3 つの輪郭を選択できます。

High/Main/Baseline

3. 画質:5 つの画質を選択できます。

最高・高い・標準・中間・低い

4. ビデオフレームレート:ドロップダウンし、選択してください。

5. 圧縮形式:H264.JPEG より選択してください。

RTSP パス:RTSP 出力名です。

d. ストリーミング 2 アドバンスモード

1. 解像度

5 つの解像度を選択することが出来ます。

1920x1080@30fps,1280x720@30fps,640x480@30fps,
320x240@30fps,176x144@30fps.

2. Profile:3 つの輪郭を選択できます。

High/Main/Baseline

3. ビットレート管理モード

CBR(定数ビットレート)と VBR(可変ビットレート)を使用できます。

CBR:32Kbps~4Mbps(数値が高いほどビデオの品質がよいです)

VBR:1(Low)~10(High)圧縮率が高いほど、画像品質が低いです。

また、ネットワーク帯域幅に影響がある場合があります。VBR レートを選択は慎重に行ってください。

4. ビデオフレームレート

5. GOP サイズ

「グループ写真」を意味します。GOP の須知が高いほど、品質はよくなります。

6. RTSP Path:RTSP 出力名です。

- e. 3GPP ストリーミング設定

3GPP モード設定:解像度 176x144 5FPS.MJPEG4 format

1. 解像度:3 つの解像度を選択することができます。

640x480@15fps,320x240@15fps,176x144@15fps.

2. ビデオビットレート:ドロップダウンしてください。

数値が少ないほど通信速度が速くなり、画像が荒くなります。

3. ビデオフレームレート:1 秒あたりのレート

4. 圧縮形式:H264.MJPEG4 を選択

5. RTSP Path:RTSP 出力名です。

iii. オーディオ

IP カメラは 2 つの方法にてオーディオをサポートしています。リモート PC に IP カメラのマイク入力から音声を送信することが出来ます。また、IP カメラの外部スピーカーにリモート PC から音声を送信することが出来ます。

- a. ローカル PC に IP カメラ内蔵のマイクから有効にできます。

- b. 拡声にチェックを入れると音声入力の有効になっています。

D. イベント設定

複数のイベント設定を提供します。

- i. イベント設定

Area Setting:	Area 1	Area 2	Area 3
Sensitivity:	5	5	5
☒ Area 1:	☐ E-mail ☐ FTP ☐ Out1 ☒ Save to SD card ☐ Samba		
☐ Area 2:	☐ E-mail ☐ FTP ☐ Out1 ☐ Save to SD card ☐ Samba		
☐ Area 3:	☐ E-mail ☐ FTP ☐ Out1 ☐ Save to SD card ☐ Samba		
Log:	☒ E-mail ☐ FTP ☐ Samba		
Subject:	IP Camera Warning!		
Interval:	10 sec a period of time between every two motions detected.		

- a. 動き検知
3つの領域の動きを検出することが出来ます。モーションがトリガーされると、特定のメール、FTP、リレー出力、SDカードへビデオ録画、Samba送信のトリガーアクションを行います。領域を設定するには、エリア1をクリックし、領域をマウスでドラッグしてください。同じようにエリア2、エリア3も行えます。
- b. 顔検出
顔検出を有効にし、必要なアクションとともに間隔検出を設定することができます。
- c. デジタル画像安定化装置
- d. IPカメラのぼやけを軽減するために有効にします。
- e. レコードファイル：記憶ファイルの映像圧縮を3つの中から選択できます。
1. AVIファイル(With Record File Setting)
 2. JPEG(録画時間設定)
 3. JPEG(録画間隔ごとに1ファイル)

f. 録画設定

設定したデバイスにトリガーが反応したとき、検知前 5 秒最大、検知後 10 秒最大録画が可能です。

メモ: プレ／ポスト アラーム記憶時間は記憶的な時間設定と IP カメラ内臓の RAM メモリに依存します。情報が多すぎる、またビデオの品質設定が高すぎるときに内臓 RAM メモリによって制限が発生します。それが原因となり録画時間が減少する可能性があります。

g. ネットワーク切断

ネットワークが切断した際、SD カードへ映像を保存します。優先接続されたときのみ有効です。

h. ネットワーク IP チェック

接続がダウンした際、SD カードへ映像保存しますが、ビデオ録画されているか間隔をあけてネットワークへ確認を行います。IP チェックを行った際 2 つの動作を指示することが出来ます。「再起動をする」、「または再度録画を開始する」を選択することが出来ます。

ii. スケジュール

Schedule																								
All	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Mon.																								
Tue.																								
Wed.																								
Thu.																								
Fri.																								
Sat.																								
Sun.																								

With schedule setup.

Snapshot

☐ Enabled
 ☒ Disabled

Snapshot:
 ☐ E-mail
 ☐ FTP
 ☐ Save to SD card
 ☐ Samba

Interval:

 Second(s) [1..50000]

File Name:

Apply

a. スケジュール: スケジュール設定完了後、カメラのデータはスケジ

ルールに従って録画します。

- b. スナップショット: スナップショット機能を有効にした後、スナップショットの時間間隔とスナップショットの予約済みのファイル名にはスナップショットファオルの記憶域の位置を選択できます。
- c. 間隔: 2 つのスナップショットの間隔

iii. I/O 設定

I/O Setting	
Input Setting	
Input 1 Sensor:	N.O
Input 1 Action:	☐ E-mail ☐ FTP ☐ Out1 ☐ Save to SD card ☐ Samba
Subject:	GPIO In Detected!
Interval:	10 sec
☐ Based on the <u>schedule</u>	
Output Setting	
Mode Setting:	☒ OnOff Switch ☐ Time Switch
Interval:	10 sec

- a. IP カメラは 1 入力、1 出力をサポートしています。入力がトリガーされたとき特定のメールアドレス、FTP、リレー、SD カード、Samba へ録画等行うことができ、それらへのフォルダ名を入力します。

間隔:

例えば、ここで「10 秒」を選択すると、モーションが検出されてアクションがトリガーされると、10 秒以内に再びトリガーすることはできません。

- b. 出力設定:

出力モードは、DO またはリレーの出力時間に影響します。

- (i) ON/OFF スイッチ: 外部デバイスを 10 秒間トリガーします。ライブビデオページの右下にある「オフ」をクリックすると、手動でアラームをオフにすることができます。

(写真)

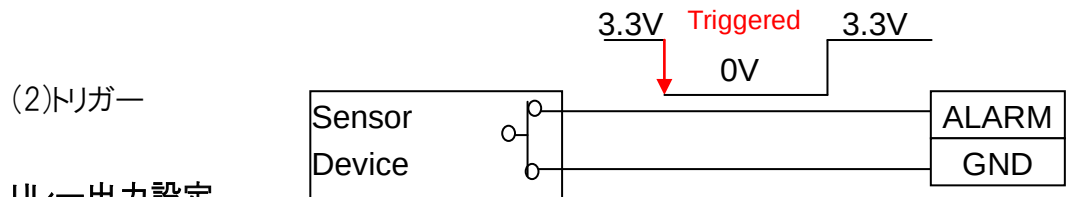
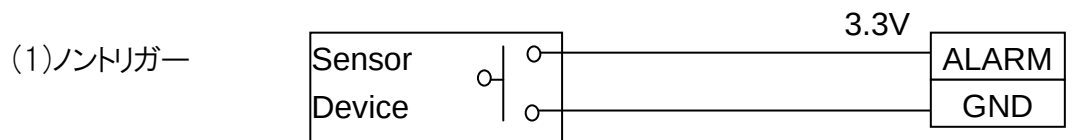
- (ii) タイムスイッチ: カメラは外部装置をトリガーし、内部設定に従って一定時間持続する。ユーザーは手動でアラームを解除することはできません。

CATUTION!!

感電の危険性を軽減する為、リレーボックスへの接続は正しく行ってください。

Alarm Input Setting

GPIO I/O ポートの入力によってトリガーされる、I/O 入力しながら関連するアクション提供します。



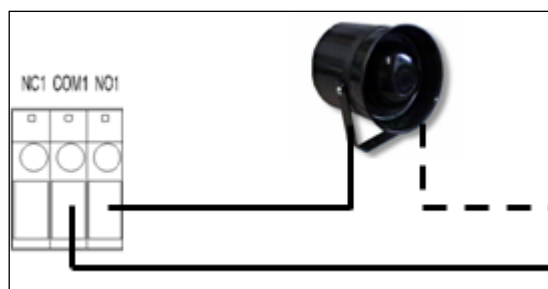
リレー出力設定

リレー出力の設定、関連出力操作を実行する出力デバイスを設定できます。

I/O ピンの定義: 次のステータスを参照してください。

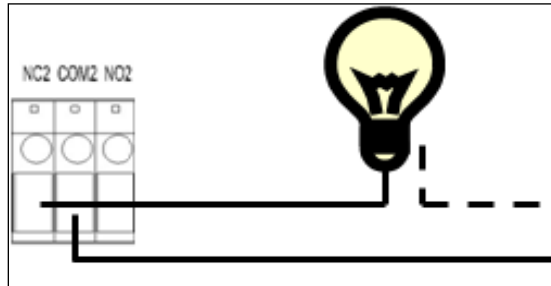
ALARM	アラーム入力
GND	標準電圧: 3.3V (内部電圧). アラームとGNDのピンを接続します。
N.C.	リレー出力
COM	接点定格: 30V DC/ 1A : 125V AC/ 0.3A. デバイスに依存しますが、“N.C.”と“COM”ピン、または
N.O.	“N.O.”と“COM”ピンを接続する必要があります。

リレーの接続例 1



リレーの接続例 2

イベント/モーションは、COM で発生する(ノーマルクローズ)屋内照明オフは正常にトリガーします。



iv. メールとFTP

FTP のメールを介してビデオを送信するには、最初の構成を設定してください。

Mail Setting	
Login Method:	Account ▼
Mail Server:	
Username:	
Password:	
Sender's Mail:	
Receiver's Mail:	
Bcc Mail:	
Mail Port:	25 (Default 25)
☐ Secure Connect:	☒ TLS ☐ SSL
Test	

FTP Setting	
FTP Server:	
Username:	
Password:	
Port:	21
Path:	/
Mode:	PORT ▼
Create the folder:	Yes ▼ (ex:Path/20100115/121032m.avi)
Test	

v. Samba

このイベントがトリガーされたときにネットワークコンピューター経由でメディアファイルを送信するオプションを選択します。

Samba (Network storage)	
Location:	(ex: \\Nas_ip\folder)
Workgroup:	
Username:	
Password:	
Create the folder:	Yes v (ex: Path/20100115/121032m.avi)
Test	

vi. ログリスト

システムログ、動き検知ログ、I/Oログ、すべてのログで並べています。さらに電源障害によるデータ損失はありません。

ログリスト	
システムログ	ログ
動き検知ログ	ログ
I/Oログ	ログ
全てのログ	ログ

vii. マイクロ SD カード(オプション)

電源投入前に SD カードを挿入してください。必ず完全にスロットに挿入してください。

メモ:

SD カードの使用はビデオフレームレートに影響を与えるように、わずかに IP カメラの動作に影響を与えます。

c. 再生



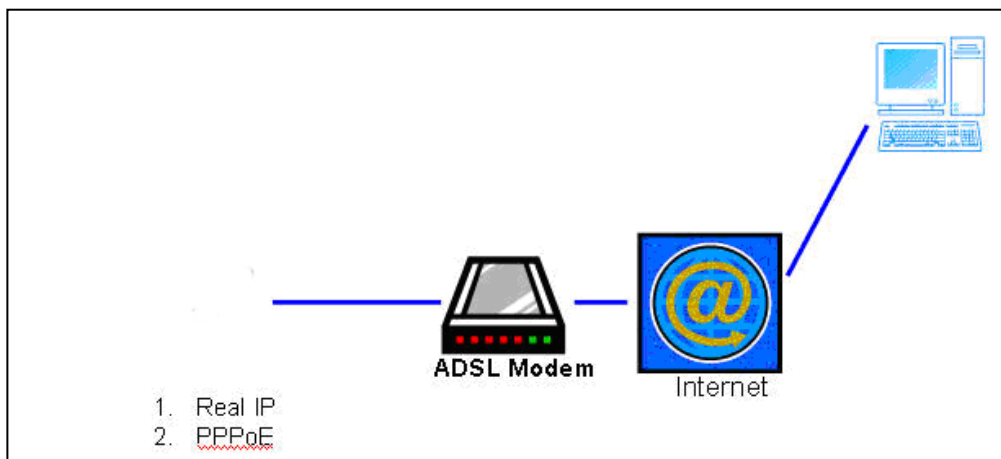
1. SD カードの容量が表示されます。このページに記載されている日付を選択します。ビデオの一覧が表示されます。

2006/04/17			Del
Time	Video	Event Type	☐
09:05:22	090522f.avi	Network Dis-connected	☐
09:05:52	090552f.avi	Network Dis-connected	☐
09:06:22	090622f.avi	Network Dis-connected	☐
09:06:52	090652f.avi	Network Dis-connected	☐
09:07:22	090722f.avi	Network Dis-connected	☐
09:07:52	090752f.avi	Network Dis-connected	☐
09:08:22	090822f.avi	Network Dis-connected	☐
09:08:51	090851f.avi	Network Dis-connected	☐
09:09:21	090921f.avi	Network Dis-connected	☐
09:09:51	090951f.avi	Network Dis-connected	☐
1 2 3 4 5			

2. ビデオフォーマットは AVI です。マイクロソフト社のメディアプレイヤーにて再生することが出来ます。
3. 削除するには☒をいれ削除をクリックします。また、SD カードのデータがいっぱいになったら、自動的に古いビデオデータから削除します。

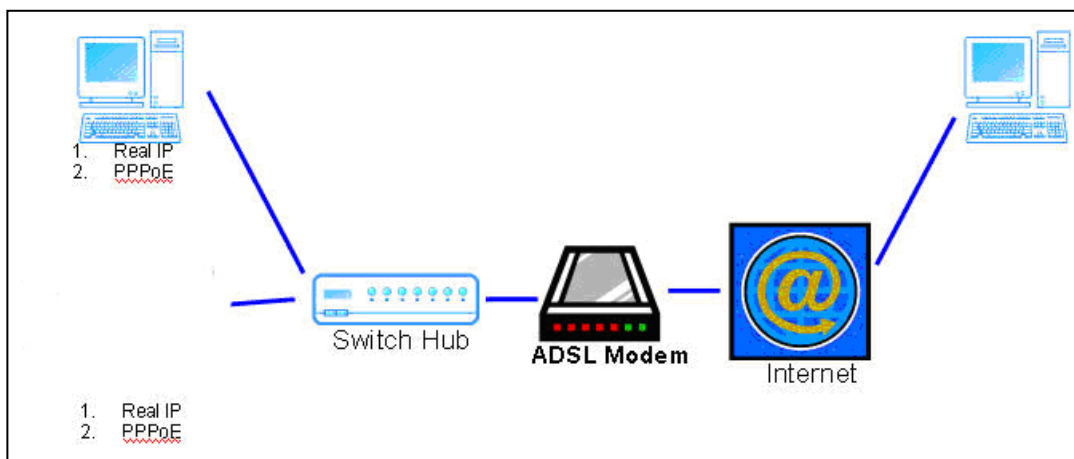
VI. ネットワークの構成

i. 構成 1



- a. インターネット接続:ADSL or ケーブルモデム
- b. IP アドレス:リアル IP かダイナミック IP の 1 つ。
- c. IP カメラのみがインターネットへ接続します。
- d. リアル IP は IP カメラに、ダイナミック IP は PPPoE を開始設定します。

ii. 構成 2

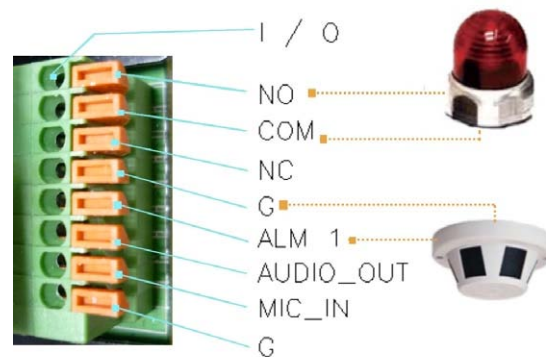


- a. インターネット接続:ADSL or ケーブルモデム
- b. IP アドレス:リアル IP かダイナミック IP
- c. IP カメラと PC がインターネット接続します。
- d. 必要なデバイス:スイッチング HUB
- e. リアル IP は IP アドレスを PC と IP カメラに、ダイナミック IP は PPPoE を開始設定します。

VII. I/O 構成

1. I / O 接続

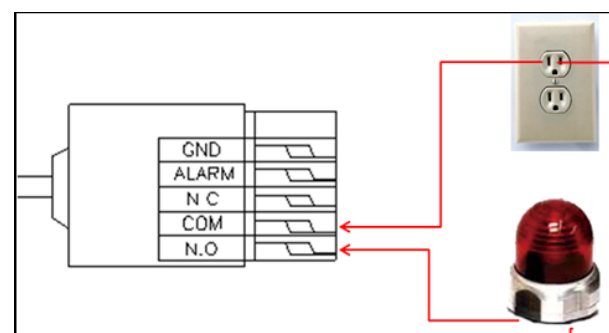
カメラの端子台を以下のように使用してください。



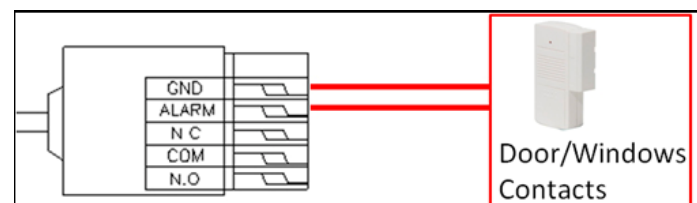
COM&N.O / N.C ピン(デバイスに依存)を外部リレー(ブザー)デバイスに接続してください。



Or



GND およびアラームピンを外部トリガデバイスに接続してください。



IE 経由でシステム設定ページから I / O 設定をクリックし、I / O 信号を有効にするには「Out1」をチェックします。

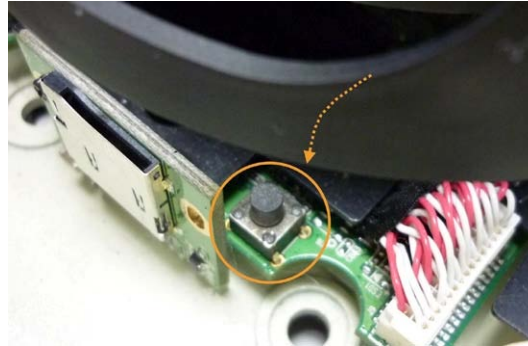
I/O Setting	
Input Setting	
Input 1 Sensor:	N.O ▼
Input 1 Action:	☒ E-mail ☒ FTP ☐ Out1 ☐ Save to SD card ☒ Samba
Subject:	GPIO In Detected!
Interval:	10 sec ▼
☐ Based on the <u>schedule</u>	
Output Setting	
Mode Setting:	☒ OnOff Switch ☐ Time Switch
Interval:	10 sec ▼

IE 経由でセットアップメインページの ON / OFF をクリックしてリレー出力信号を制御します。

VIII.工場出荷時に戻す方法

パスワードを忘れた場合は、手順に従ってデフォルト値に戻してください。

・電源ケーブルとイーサネットケーブルを取り外します。下の図のボタンを押し続けます。



カメラに電源を再接続し、システムの起動中はボタンを放してはいけません。カメラの起動には約 30 秒かかります。

・カメラの起動が完了したらボタンを離します。

・イーサネットケーブルを差し込んでください。デフォルト IP を使用してカメラに再ログインする
(<http://192.168.1.200>)、ユーザー名(admin)、パスワード(admin)

IX. マイクロ SD カードの互換性

次のマイクロ SD カードをお勧めします。

Transcend	SDHC class4	16GB
	SDHC class4	32GB
	SD class4	16GB
	SD class4	32GB
	SDHC class6	4GB
	SDHC class6	8GB
	SDHC class6	16GB
	SD class6	4GB
	SD class6	8GB
	SD class6	16GB
SanDisk	SDHC class4	4GB
	SDHC class4	8GB
	SDHC class4	16GB